

# 愛知県環境と安全に配慮した農業に関する実施方針の概要（2023年1月）

## I 趣旨

○国の「みどりの食料システム戦略」の策定、「環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律」の制定等の内容を踏まえるとともに、カーボンニュートラルの取組や国内資源の有効活用といった新たな課題に対応するため改正する。

## II 基本的な考え方

○化学肥料や化学農薬などによる環境負荷の低減といった従来からの課題に加え、カーボンニュートラルや国内資源の有効活用といった新たな課題について、県、市町村、農業団体等関係者が共通認識のもとで、一体となって取組を行うとともに、農業者自らが環境と安全に配慮した農業に主体的に取り組むよう啓発し、県民の理解と協力をいただけるよう努める。

## III 目指す姿

### ○目指す姿

本県の農業全体の環境と安全に配慮した農業の実現

### ○目指す姿の実現に向けた目標

- ・みどりの食料システム法における計画認定件数 1,500件（2023-2025年）
- ・国際水準GAPをほぼすべての産地で実施（2030年）

## IV 課題と推進方策

### 1 肥料、有機質資材等の適正な利用

「肥料び石油価格高騰に対応するコスト低減技術」に基づく、農業者の減肥の取組支援 等

### 2 農薬の適正な使用と総合的病害虫・雑草管理（IPM）技術の普及推進

「あいち病害虫情報」への病害虫発生予察情報や農業病害虫防除の手引き等の掲載等によるIPM実践のための情報提供 等

### 3 農業用使用済プラスチックの適正処理と排出量の抑制

プラスチック被覆肥料に頼らない施肥技術の開発と普及の推進 等

### 4 省エネルギー等の取組による温室効果ガスの発生抑制

効率的な温度管理技術、保温効率の向上技術、排熱を利用する技術等による省エネルギー栽培技術の開発 等

### 5 GAP手法の推進

産地等における愛知県農産物環境安全推進マニュアルを始めとしたGAP手法の取組実施 等

### 6 その他

みどりの食料システム法における計画の認定等

## V 環境と安全に配慮した農業生産技術の開発

- 地球温暖化抑制のための有機質資材施用技術の開発
- 病害虫診断用LAMPマーカー及び複数病害虫の一括診断法の開発
- 未利用資源を活用した豚及び鶏の飼養管理技術の開発
- バイオマスを利用した良質堆肥生産技術の開発
- 茶の有機栽培における耕種的病害虫防除技術の開発
- 土壌の養分供給力及び土壌肥沃度の予測技術の開発
- 病害虫抵抗性水稻、小麦、トマト、花き品種の開発 等

## VI 推進及び検討体制

